

## 令和元年度事業報告

今年度は、元号も変わり、新たな時代への幕開けですが、1月頃から新型コロナウイルスが流行りだし、今だ終息の見通しが立っていない状況です。国全体で対策を行っていますが、何よりも日頃から手洗いやうがい等の自己対策が、一番効果的ではないかと思えます。

さて、わが国では、定年延長が70歳の時代になりつつある中、シルバー人材センターにおける環境も大きく変化してきております。定年の延長による会員数の伸び悩みや民間企業による高齢者派遣事業の進出、労働法や高齢法による様々な法改正の中での受注確保等厳しい面もある中で、今年度の契約額は、派遣の契約打ち切りや単発仕事の受注減の影響で、減額となりましたが、会員数は、退会抑止を心掛けたことやチラシ等によるシルバー周知を行ったこと等により、前年度と同じく3月末時点で191名に留まりました。また、派遣業務も年々増加傾向にあることから、ニーズの多い「ハウスクリーニング講習会」や県シ連の育成事業講習会も積極的に行い、シニア世代への技能付与を行いました。会員や町民の方々の日常生活に密着した講習会として、「交通安全講習及び救命救急講習会」、「携帯電話使用講習会」、「料理講習会」も行ない、講習会を通じての会員確保やシルバーの認知度を上げるような取り組みも行ないました。シルバー＝地域の「お助け隊」として、日常生活に密着した就業機会を提供し、シニア世代の「居場所」と「出番」をつくるように、そして、1人でも多くの会員が生きがいや楽しみを感じて、元気に就労できるよう、以下の事業を行いました。

### 1 組織運営体制強化

#### (1) 会員増強

お客様の多種多様な就業要請に応えるため、町内に住む60歳以上の健康で働く意欲があり、幅広い能力を持つ方々へ入会を勧め、常時200名の会員確保のため、下記の活動を行いました。

- ・町広報を活用した募集及び独自ホームページとスマホによるPRもできるようにしました。
- ・町会へチラシの配布・回覧を依頼しました。
- ・一会員一就業先開拓運動の推進を継続して行いました。
- ・ハローワーク金沢(月2回)とハローワーク津幡(月1回)での雇用保険受給者への入会説明会の開催を行いました。
- ・ポスターや新聞折り込みチラシによる会員募集・就業開拓PRを強化しました。
- ・講習会と連携した会員説明会の開催を行ない、シルバーを身近に感じてもらえた。
- ・会員のポイントシステムに関する調査も開始しました。

## (2) 事務局体制強化

新規事業展開や、営業活動強化策を見据えた効率的な事務局を目指しました。

- ・役員・会員で構成された専門委員会による事業運営の取り組みを行い、事業に対する意見を会員目線で反映することができた。
- ・積極的な研修会参加による職員の業務能力向上の取り組みも行ないました。
- ・職員1人1人が考えて提案するようにしました。

## (3) 会員による自主運営確立推進

見積もり・現場管理・業務完了確認など、事務局主導を見直し、可能な限り「会員が運営するシルバー人材センター」という認識を浸透させることで自主性を喚起し、より働き甲斐と喜びの機会を提供するように努めました。

- ・普及啓発委員会によるチラシの図案作成や「シルバーわくわく情報局」の制作に取り組みました。
- ・事業委員会による事業企画
  - 懇親会・親睦会（茶話会等）・グランドゴルフ大会・「新鮮野菜市」での参加協力・中期計画の作成等
- ・会員世話人によるグランドゴルフ大会の開催

## 2 就業機会の開拓

事業の根幹であり、自主財源確保対策の最重要課題として、派遣事業を含めた受注活動の拡大に努めた。

### (1) 就業機会の開拓活動

- ・内灘町の協力のもと、町内全世帯へのシルバーPRチラシ配布
- ・企業・事業者に対するPRと提案型営業活動の推進・強化
- ・季節ごとに(剪定・雪吊り・除草・除雪等)予約募集活動
- ・事業所・各種団体窓口へのポスター掲示・PR推進

### (2) 「よってこか〜新鮮野菜市」での未就業会員の就業場所の確保

### (3) 独自講習会として、「料理教室（8回）」、「ハウスクリーニング講習会」、「携帯電話使用講習会（1回）」、「新聞バック作り講習会（2回）」

### (4) 県シ連と連携した講習会開催

「ガーデニング講習会」、「ドローン講習会」、「調理補助講習会」

### (5) ワンコインサービスの拡充

### (6) 内灘町及び内灘町社会福祉協議会との連携

### (7) 「空き家管理業務」の周知強化

### 3 会員の安全・適正就業に関する意識・知識の向上

事故ゼロを目指した安全就業に関する意識の再徹底と、知識・技能向上を図る機会を作り、会員個々の就業機会の開発と、技能継承に努めました。

- ・リーダーによる朝礼・終礼の徹底（現場指示、注意事項の伝達等）
- ・会員への賠償事故防止対策指示の徹底と現場管理
- ・安全・適正就業委員会を中心とした現場パトロールの強化
- ・安全・適正就業委員会による事故原因の追究と再発防止
- ・県シ連と連携した「刈払機取扱い安全講習会」の開催
- ・「高齢者交通安全講習及び救命救急講習会」の開催
- ・「いきいき通信」を活用した季節ごとの注意喚起や啓発・情報発信
- ・「適正就業ガイドライン」の遵守

### 4 普及啓発

センターのPRを兼ね、地域住民及び各種団体との連携強化と会員の一体感醸成のため、ボランティア活動に取り組みました。

- ・「よってこか〜新鮮野菜市」開催によるシルバーPR
- ・除草・清掃など奉仕活動の実施
- ・普及啓発月間中、町内スーパーマーケット店頭でのチラシ配布によるPR
- ・高齢者スポーツ大会への出向チラシ配布
- ・一会員一就業先開拓運動の継続実施
- ・ポスターやチラシによるシルバー人材センターの周知
- ・シルバーの活動内容をお知らせする「わくわく情報局」機関誌の発行（全戸配布）
- ・内灘町広報等によるセンター事業のPR

### 5 その他

- ・研修会等に参加し、内灘町シルバー人材センターの新規事業の模索を図った。
- ・家事福祉援助サービス、託児分野の拡大を図った。
- ・派遣事業の拡大に取り組んだ。
- ・「第2次中期計画」を作成した。